

月例報告書（1月分）

留学先；ブルゴーニュ大学

氏名：坂口紅葉

一月の日常

一月は最終テストの後にバカンスがあるので、授業はほぼありませんでした。この前クリスマスのバカンスがあったのに、次のセメスターが始まるまでにまたバカンスがあります。このバカンスは、CIEF(私が通っているブルゴーニュ大学の言語学校)の生徒たちだけなので世間はバカンスではありません。私はパリに一泊二日の旅行に行っただけであとは寮で過ごしました。セメスターが終わるということは、次のセメスターを継続しない子たちとの別れということなのです。そのままフランスに住む子もいますが、もちろん母国に帰国する子もいます。とても悲しい時期です。特に仲良くしてくれていた子達とお別れ会をしました。必ずまた会うという約束をしました。世界中に友達ができるのはとても幸せなことです。その国に旅行したら友達がいるなんてとても素敵です。二月からはクラスも変わり、新しい留学生の子が来るのでまた友達をいっぱい作りたいです。授業について特に書くことがなかったため今回のレポートでは、私が住んでいる寮について書きたいと思います。このレポートを誰が読んでくれているかわかりませんが、留学する際の参考になれば幸いです。

私が住む学生寮(RIE)について

留学する際にまず寮生活かホームステイを選ばなければいけないと思います。私は金銭面や人間関係の観点から寮を選びました。ホームステイで第二の家族を作り、フランス人の生活を直接感じるができるのはとても魅力的ですが、関係をうまく構築することができないと、家が安心できる場所ではなくなってしまいます。それは避けたいので、一人暮らしにも慣れているため寮を選びました。ここからは寮のいい点と悪い点を挙げていきます。まずいい点ですが、とても自由なことです。門限もありませんし、快適に過ごすことができます。また、同じCIEFの生徒が多く住んでいるのでいつでも会いに行くことができます。部屋で集まったり、一緒に学校に行ったり、夜遅くまで遊んだとしても同じところに帰るので安心して帰宅できます。あと、近くのパン屋さんが余ったパンをロビーにおいてくれるので無料でもらうことができます。毎日確認しているわけではないので毎日かどうかはわかりませんが、大体夜においてあります。おいしいのでとてもありがたいです。

次に悪い点です。一番大きなポイントとしては、キッチンだけ共用なところだと思います。ご飯を食べるたびに部屋から出なければならないことと、共用スペースのため潔癖症の人は無理だと思います。私はこちらでポータブルの電気ので使えるコンロを購入してとてもよかったですと感じています。あと Wi-Fi が弱いです。私にとってアニメや動画を見ている最中によく止まるのはだいぶストレスです。これは私じゃどうにもできないのであきらめるしかありません。また、原因はよくわかりませんが火災報知器が結構な頻度で鳴ります。壊れていると聞いたので早めに直してほしいと願っていますが、四か月たってもずっと鳴り続

けるので精神的な苦痛を感じます。今のところこの火災報知器が、私的に一番問題点だと感じています。それ以外は特に問題はないです。部屋は自分好みにカスタマイズしていています。私はこちらの部屋に入っても土足文化になれなかったので、カーペットをひいています。土足厳禁にしてから部屋の快適度が格段にアップしました。これからも快適な生活を保つために自分にストレスを与えないようにフランスでの生活を楽しまたいです。

